

平成 28 年度 学会発表・講演等

【学会発表】

- 1)ラパチニブの血中濃度に及ぼす服用タイミングとタモキシフェン併用の影響
大神 正宏
第 33 回日本 TDM 学会・学術大会, 平成 28 年 5 月 28 日～29 日 (宇都宮市)
- 2)平成 28 年度熊本地震における薬剤師活動
青山 一紀
日本病院薬剤師会関東ブロック第 46 回学術大会, 平成 28 年 8 月 27 日～28 日 (千葉市)
- 3)イリノテカン投与患者における MAT を用いた悪心・嘔吐調査
大神 正宏
第 26 回日本医療薬学会年会、平成 28 年 9 月 17 日～19 日 (京都市)
- 4)前立腺癌患者における G-CSF の使用状況調査
鈴木一衛
第 26 回日本医療薬学会年会、平成 28 年 9 月 17 日～19 日 (京都市)
- 5)当院における薬剤科外来の取り組み
大神 正宏
第 55 回全国自治体病院学会, 平成 28 年度 10 月 20 日～21 日 (富山市)
- 6)インスリンラゲンの後続品への切替えについて
青山一紀
第 27 回茨城県薬剤師学術大会, 平成 28 年 11 月 20 日 (つくば市)
- 7)適正な簡易懸濁法実施に向けた取り組み
小泉和美
第 27 回茨城県薬剤師学術大会, 平成 28 年 11 月 20 日 (つくば市)
- 8)抗がん剤調整に使用する閉鎖式接続器具の比較検討
小島健一
第 26 回茨城がん学会, 平成 29 年 2 月 19 日 (水戸市)
- 9)経口抗がん薬適正使用のための臨床検査値活用に係る調査
山下真以
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017, 平成 29 年 3 月 18 日～19 日 (新潟市)
- 10)イリノテカン投与中の腓腹筋痙攣に芍薬甘草湯が有効であった一例
岩上智美
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017, 平成 29 年 3 月 18 日～19 日 (新潟市)

【講演】

- 1)胃癌におけるがん化学療法薬の話題と服薬指導

大神 正宏

県央エリア薬剤師勉強会，平成 28 年 4 月 20 日（水戸市）

- 2)肺癌治療における医療連携の現状～薬剤師の立場から

大神 正宏

BLCC IN HITACHI，平成 28 年 6 月 2 日（日立市）

【論文】

- 1) “Drug interaction between erlotinib and phenytoin for brain metastases in a patient with nonsmall cell lung cancer”

大神 正宏

Journal “Lung Cancer” October 17-18, 2016